

作年度印象に残ったこと  
今年度の意気込み

## ボランティアメンバーに聞いてみました！

# Rock The Life! ezorock vol.41

### Earth Care あさおくん



**印象に残ったこと**  
昨年はライジングサンに初めて参加したり、プラスチックについて学んだりしました。環境問題も奥が深く、学びたいことがたくさんあります。  
**意気込み**  
今年もっと多くの人と交流していきたいです。

### 浜益ベース いっしー



**印象に残ったこと**  
イチイシューツアーのお手伝いが印象深いですね。ずっと会いたかったイチイの木に会えたのと、浜益に自分の顔が認知されるようになってきたのを感じれた活動だったので！  
**意気込み**  
昨年度以上に浜益に関わる機会を増やして、浜益のことをもっと知って、浜益の人たちと地域を盛り上げてきたいです！

### 交流部 みさき



**印象に残ったこと**  
浜益に関わりながら、沢山のひとと交流することができました。浜益の方をはじめとして、ezorockのメンバーとも活動を通して交流の幅を広げられたと思います！  
**意気込み**  
今年も沢山のひとと関わり、自分も相手も楽しませながら活動を進めていきたいです！

### 179リレーションズ こー



**印象に残ったこと**  
栗山町や網走市の方とお話する機会がありました。地域に関わるまでを深く聞きましたが、地域に関わるきっかけは意外と近くにあると感じました。  
**意気込み**  
去年よりも多くの町に行き、色々な人の話を聞きたいな！

### モビリティについて考える会 JAPAN

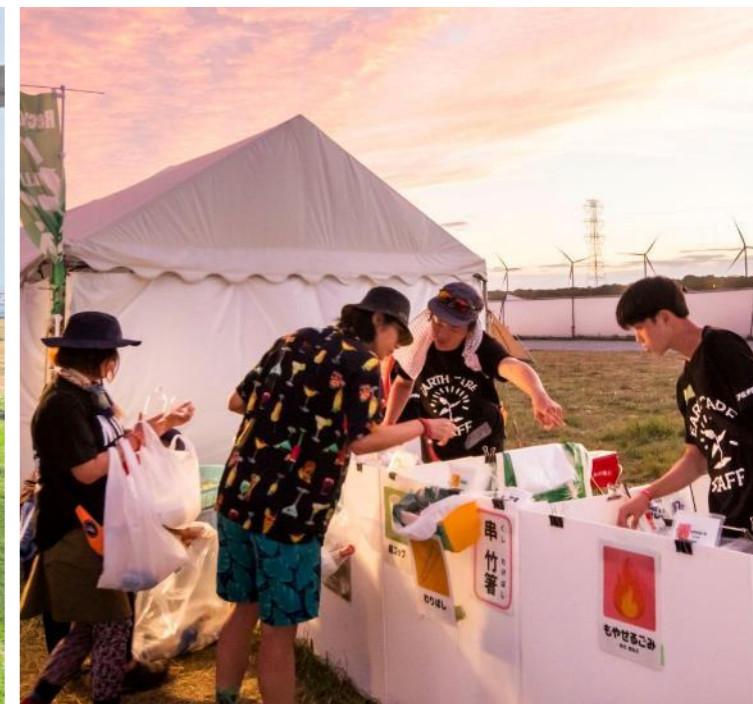


**印象に残ったこと**  
タウンピクニックに出展し、来場客が自転車ヘルメットに関心を持ってくれたことや、歩道空間の有効活用に関するワークショップで議論したことが印象に残っています。  
**意気込み**  
現在立案中の新企画の形作りをまずは頑張りたいです。

### EZOWOLFS TORY しん



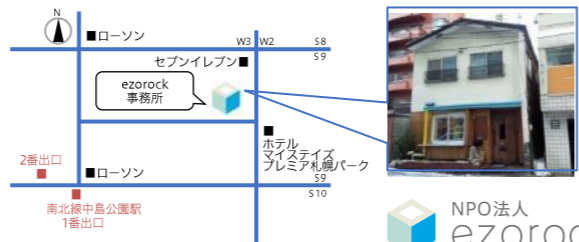
**印象に残ったこと**  
皮プロジェクトとして再出発し、皮なめしの一部(裏すき)やレザークラフトの体験の参加者、プロジェクトへの関心が多く、物販イベントに何度も出店するなど、いいスタートを切れたと思います。  
**意気込み**  
23年度をベースに継続、進展させていけたらいいなと思います。



# 2023年度 活動報告 レポート

### 代表の小言

いろいろな大学の講義で「私の講義に期待する」とは？というアンケートを実施すると「眠くない授業を」と「想像以上に」という要望が想像以上に多いことに気がつく。この言葉の裏側を読み解いてみると、学生は自分の意志で寝ているわけではなく、様々な要因により「眠たくなってしまう」という状態が見え隠れする。これは一体どういうことなんだろうかと。他国に比べて日本人は慢性的に睡眠不足状態にあり、その影響による経済的損失は、15兆円とも言われている。眠くなってしまうのは本人の問題という考えが一般的なのだが、どうやらこれは社会が抱えている課題の一つだ。大学の授業料を4年で500万とすると、1コマ×124単位で割ると、1コマ約2700円。とても高額な昼寝。教える側も目を覚ます必要がある側も



今号の写真  
2023年度の活動写真を集めました。



## E 環境対策活動 Earth Care/RSRオーガニックファーム



**活動紹介** 野外音楽フェスティバルや地域のお祭りにおいてごみの分別ナビゲートを実施。「ごみ」をツールに「Do It Yourself」の精神を伝えながら、自分自身で考え・行動する社会を作る。

**実施活動** 5つのイベントでの環境対策活動日数9日のべ384人(RISING SUN ROCK FESTIVAL 2023 in EZO、第58回石狩さけまつりなど)

**成果** 4年ぶりにRSRの会場にてオーガニックじゃがいもの配布を実施。また、身近なプラスチックの問題からアクションプランへ繋げる「プラスチックについて考える会」を発足。

**コメント** これまで実施してきた環境対策活動とは別に、今年度からスタートした「プラスチックについて考える会」により新たなアクションプランが生まれるのが楽しみ。(二号)

## 浜益ベース



**活動内容** 石狩市浜益区にある一軒家「はまますベース」を滞在型活動拠点として、浜益に関わるきっかけとなる活動から、より地域に深く関わる活動を展開。

**実施活動** 活動日数56日 参加人数のべ169人(果樹園お手伝い27日、その他31日)

**成果** 「快適でサステナブルな田舎暮らし」をテーマに、はまますベースをより過ごしやすい空間になるよう整備し活動を行った。また、ベースでの読書会の開催や、浜益の食材を使った料理作りなど、より地域と繋がる入り口となる活動を作ることができた。

**コメント** チームメンバーが大きく入れ替わり、まずは浜益の事を知ることから始まった一年。様々な活動を通して、地域の魅力と現状をより沢山のの人に共有し、一緒に考える仲間を増やしていきたい。(みさき)

## サポートチーム 広報部



今年度もオンラインでの団体説明会を月2回定期で開催し、2月末時点で157名が団体説明会に参加。ニュースレターは、「エゾシカの皮の活用から人と野生動物の共生のあり方を考える」として、今年度よりシカ革なめし部から形を変え始動したEZOWOLF STORYについてまとめたものを作成した。

## ポロクル/モビリティについて考える会



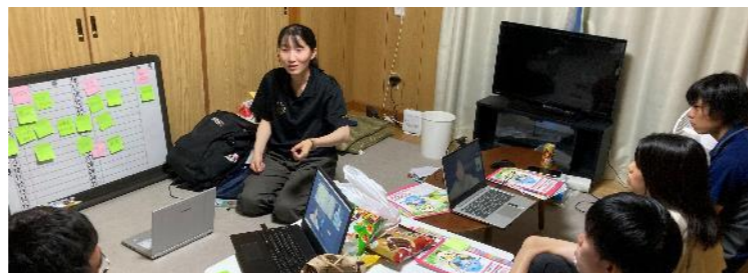
**活動内容** ポロクルでは、ポロクルの現場運営、自転車ルール・マナーに関する啓発活動へ参加をした。モビリティについて考える会(以下モビ会)では、誰もがモビリティに困らない社会を目指し、交通・移動に関する様々な活動を行った。

**実施活動** ポロクル/現場運営218日、クルー55人 自転車ルール・マナー啓発活動への参加5回モビ会/活動日数5日 参加人数32人(TOWN PICNICに出展、自転車の修理メンテナンス講座開催、シャワー通り活用に向けたワークショップに参加など)

**成果** ポロクルでは、217日の現場運営をクルー55人で行った。モビリティについて考える会では、自転車にとどまらずモビリティ全体に目を向け活動を行うことができた。

**コメント** 今年度は既存の活動に加え、新しい活動も始まった。新活動プランの策定も行い、今後の活動拡大に繋がる1年であった。(JAPAN)

## 179 関係人口創出プロジェクト リレーションズ



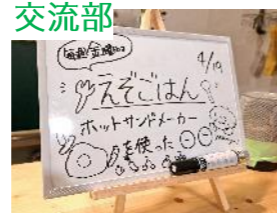
**活動内容** 北海道内の地域に関わる「入り口」をつくることを目的に活動。地域に関わるコミュニティを構築し、自然保護、自然体験、まちづくりを切り口に各地域の活動に参画。

**実施活動** オンラインイベント 7回/WEBマガジン掲載記事55本/現地活動日数158日 参加人数のべ487人/リレフェス2023開催(参加者のべ113人)

**成果** 様々な業務に携わり、それぞれの観点から自然への認識を深めることに寄与できた(旭岳自然保護プロジェクト)。勉強会を行うことで、子どもの自然体験の場がある意義を再認識できた(森のようちえん)。長期的な関わりの中で気付いた視点で取り組める事例が増えた(鷹栖リレーションズ)。

**コメント** 継続的な活動も多く、関わりのある地域との関係を深められた1年になった。受入窓口の方のみならず、地域の方々の中でも認知度が高まったことを感じる事ができた。(たに)

## 交流部



メンバーの交流と事務所利用を促す目的に、ezorock事務所でのエゾごはんを毎週金曜日に実施。第5週の水曜日に定期的に交流会も行い、顔を合わせて親睦を深める場も作りだした。オンライン機器も活用し、遠方に住むメンバーともつながりながら交流することができた。

## プロジェクト「NINOMIYA」



**活動内容** 未利用材を活用し、薪割り体験を軸に新生産を実施。生産された薪は販売し、売上の一部は子ども向け体験補助へ。

**実施活動** 活動日数101日 参加人数のべ49人/新生産量約20m<sup>3</sup>/薪販売件数30件約49立米/薪割り体験提供者数831人(内子ども73人)/イベント等での薪割り体験提供(RSR、ClubMed等のべ21日)/栗山町森林環境譲与税を活用した新生産と里山整備事業

**成果** 栗山町連携では現地で薪割り活動体制ができ、今後は町内住民に向け実施する予定。また、企業向けの研修としての薪割り・焚き火体験にも関心が高まっており、提供できるプログラムを再整理するなど、外部への薪割り体験提供は次の展開を迎えている。

**コメント** 企業向けの研修や新生産・薪割り体験ノウハウ提供のニーズは大きい。活動規模や内容を見直し、仕組みの再構築を図りたい。(てつ)

## E ZOWOLF STORY



**活動内容** 北海道各地で捨てられてしまうエゾシカの皮の活用を目的に、プログラムを通してエゾシカが置かれている現状やその背景を伝えることで、野生動物や自然環境との共生を一緒に考えていく活動を展開。

**実施活動** 活動日数58日 参加人数のべ109人(皮なめし活動・体験7日/レザークラフト体験8日/地域プログラム8日/イベント出店など8日)

**成果** 昨年度構築したレザーの制作から流通のフローを安定したものにできた。さらに様々な人が知る・触れる機会を増やせた。

**コメント** 全国的な獣害や自然動物への関心など社会課題との合致により、興味参加の多さに驚いた1年。さらに参加者の満足度の高いプログラムを提供できた1年でもあった。(しん)

## 研修部



今年も道内外の青年層を対象に講演会やディスカッションを行うGREENDAYを実施した。また、GREENCOLLEGEを復活させ、月2回程度、平日の夜にezorock事務所にてコミュニケーションやボランティアコーディネーターなどのテーマで、スキルアップ講座を実施した。

## 石狩体験キッズ「チポロ」

**活動内容** 石狩を中心に、豊かな自然や文化、地域の人の魅力を活用し、自然体験の“機会”と“場”を提供するための活動を行う。子どもの体験プログラムの企画・運営を実施。

**コメント** 自然体験活動の企画・実施は休止し、今後について検討を続けている。連携団体等との活動は随時実施した。(てつ)

## その他取り組み

### 能登半島地震支援活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震において、2011年の東日本大震災、2018年の北海道胆振東部地震での支援活動の経験を活かし、現地で展開されている子どもの居場所づくりの後方支援活動や現地団体への物資支援などを実施した。

### 札幌国際芸術祭2024(SIAF2024) ボランティアコーディネーター

3年に一度、札幌で実施するSIAF2024でコミュニケーションを通してSIAF2024と来場者のつながりを作る「ふむふむサポーター」の説明会、事前研修プログラム、ボランティアコーディネーターを実施した。

### 北海道NPOフェスティバル

北海道のNPOや市民活動・非営利活動について話しあい、NPO関係者同士が繋がり、北海道の未来に向けての対話の場とするべく開催された北海道NPOフェスティバル(略称：Nフェス)での、ボランティアコーディネーターなどの会場運営、オンライン配信を実施。

### 小学校・高校での授業展開

昨年度も実施した北海道札幌英藍高等学校の3年生を対象に探求の時間の中で、SDGsプログラムを実施。延暦寺学園比叡山高等学校の研修旅行内では、ezorock内のプロジェクトの取り組み事例や活動を通して高校生自身が取り組みについて考えるプログラムを実施し、さらに富良野小学校では、総合的な学習の時間の中で環境対策活動EarthCareが実施している活動の紹介を行った。

## 報道採録

- 4月14日 AIR-G'エフエム北海道「STARS Social Change」(代表草野)
- 5月6日 北海道新聞(アースデイオープンフォーラム北海道)
- 5月30日 SMOUT(浜益ベース)
- 6月 広報たかす(179リレーションズ)
- 6月8日 北海道新聞(スタッフ崎川)
- 6月28日 北海道新聞(浜益ベース)
- 8月11日 北海道新聞(ボランティア石井)
- 11月27日 くらしごと(スタッフ崎川)
- 12月 広報いしかり(スタッフ崎川)
- 2月 TURNS(179リレーションズ)

## 助成・補助金

- 公益財団法人 北海道青少年育成協会
- 認定法人北海道NPOファンド
- 内閣府